

【22_166技術系メルマガ】改めて『空間』から目線を決める

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

スーパーとかに行くと、青梅が店頭に並ぶ時期になってきましたね。

昨年は梅のシロップ漬けを作ったら家族から好評だったので

今年はさらにサイズアップして2kg位仕込んでいます(笑)

更に今年は、カリカリ梅(赤・白)も作ってみようと思っています。

昨日は、お出かけ中のロンドン時間初動でトレードを1つ。

▼GBPUSD(L) 結果:25pips▼

<https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1536611997512769536?s=20&t=QidRdCIGzKMwZFrYHezxKA>

出来上がったチャートで見ると分かりづらいが、日足安値更新確定の翌日

H4足調整方向へのプルバックを見込んでロング目線。

H1/20SMAを上抜けているところで押し目を待ち、40-50SMAまでの乖離空間(30-40pips)に向けてロング方向へのセットアップ待ち。

M15/収縮MA上抜け、40-50SMAタッチ+M5/100SMAタッチの連動(=Box床)を確認して

直近高値をターゲットにロングエントリー。

利確後はプルバック終了から200pips弱の下落。こちらは逆にセットアップがハッキリせず見送り。

～～

実際やっている事というのは、チャート上より得た情報から、トレードしたい方向に『広い空間があるか』を確認しているにすぎません。

ですが、精度よくトレードを行うには、この『目線固定』を一貫して行うことが最も重要な工程のひとつとなっています。

この背景があるから、今の状況がチャンスなのか？様子を見るべきなのか？を

明確に区別する事が出来るし

この判断に一貫性が伴うようになれば、常に安定した気持ちでトレードをし続けることができるわけです。

例えば、練習として、一つチャートの例を出してみましょう。

▼チャート例:EURUSD▼

https://kuro-gaki.com/muhai_saisoku/chart/2022-06-15.png

これは比較的分かりやすい例ですが

日足の高値圏での揉み合いの下限(赤細線)を下抜け確定の翌日

H4足では目先に邪魔なサポートもMAもない状況

H1足は20SMAタッチのプルバックから、M15足でWTopのチャートパターンを作って下落。

この下落すらも、結果論ではあるものの

動き出しを確認する前の段階から、上方向と下方向で、どちらに向かった方が邪魔は少ないのか？

を把握する事は可能です。

実際に下落方向にプライスが進むと断言はできなくても、いつも意識しているライン・MAを手がかりに

『一貫した』情報を基に、『目線』を決めるという考え方は

是非とも意識してみてほしいと思います。

より詳しい方法・考え方は、『デイトレ講座』のメルマガにて別途資料付きで配信しているので
興味がある人はチェックしてみてください。